



特集

シニアのお仕事

高齢化率29%を超える本市では、定年後の生きがいづくりや雇用促進を課題としています。「働きたい」「世の中の役に立ちたい」という思いからシルバー人材センターで働く皆さんの声をお届けするとともに、シルバー人材センターの仕組みなどを紹介します。

セカンドステージの過ごし方

皆さんは、定年後の生活（セカンドステージ）について、思い描いているものはありますか？人生100年時代といわれる昨今、100才まで生きると仮定すると、60才で定年を迎えたあとの人生は40年。まだまだ折り返したところですよ。青年期・壮年期は元気いっぱい働きついで、定年退職をした途端に生きがいを失ってしまったりと感じる方は多く存在しています。

年金だけでは足りない？退職後の生活費

総務省の「家計調査報告（平成30年）」によると、世帯主が高齢者である世帯（単身以外で2人以上の世帯）の1カ月の実収入は、消費支出に比べ約4万円不足していることが分かりました。そのため、不足分は送り・働くこと・貯蓄の切り崩しで賄われていることとなります。定年後の生活を守るため、退職後に働くことが必要な方も多くいます。

シルバー人材センターってなに？

高齢になっても働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織として昭和50年に立ち上がった「高齢者事業団」を前身としていて、現在では全国で約68万3千人が入会をしています。働いてお金を稼ぐだけでなく、友だち作りや自己啓発や楽しみの場もなっています。

シルバー人材センターでできること

- ① **働く**…^{せん}剪定・除草作業、工場内軽作業、駐輪場整理・清掃・家事援助・チラシ配布など企業・個人・公共団体などの仕事を請けます
- ② **学ぶ**…仕事のスキルアップのための講習会やライフスタイル向上のためのセミナーが受けられます
- ③ **遊ぶ&繋がる**…会員同士の交流を積極的に行っています